

# 平成 26 年度第 1 回仁淀川清流保全推進協議会次第

事務局：高知県林業振興・環境部 環境共生課

日時 平成 26 年 7 月 9 日（水）14：00 から

場所 いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

## ◆寄付贈呈式

- 1 出席者紹介
- 2 あいさつ
- 3 贈呈式
- 4 記念撮影

## ◆全体会

- 1 あいさつ  
委員紹介

### 2 議 事

(1) 仁淀川清流保全推進協議会副会長の選任について

(2) 平成 25 年度事業報告及び収支決算報告について

平成 25 年度事業報告	…P. 1
平成 25 年度収支決算報告	…P. 12
監査報告	…P. 13

(3) 平成 26 年度事業計画及び収支予算案について

平成 26 年度年間スケジュール	…P. 14
第 4 回仁淀川一斉清掃	…P. 17
第 4 回仁淀川シンポジウム	…P. 19
平成 26 年度収支予算案	…P. 21

(4) 第 2 次仁淀川清流保全計画の見直しについて

第 2 次仁淀川清流保全計画取組状況取りまとめ 報告書（平成 22 年度～平成 25 年度）	…別添資料
---	-------

仁淀川清流保全推進協議会委員名簿

(50音順、敬称略)

所属・役職	氏名	出欠	備考
国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所長	安達 孝実	欠席	
水生生物研究家	石川 妙子	出席	会長
によど自然素材等活用研究会代表	井上 光男	出席	
仁淀川流域交流会議会長（越知町長）	小田 保行	代理出席	事務局 中内 利幸
高知県林業振興・環境部副部長	高橋 隆	出席	
伊野製紙工業会長	近澤 隆志	出席	
いの町観光協会事務局長	中澤 一也	出席	監事
仁淀川森林組合代表理事組合長	西森 善光	出席	
仁淀川漁業協同組合代表理事組合長	細川 治雄	出席	
佐川環境問題研究会長	山崎 堯敏	出席	
四国森林管理局計画保全部長	吉永 俊郎	欠席	監事
仁淀川の自然と清流を守る会会長	吉本 重晴	欠席	
	計 12 名		

## 平成 25 年度 仁淀川清流保全推進協議会 事業報告

平成 25 年

- 5月28日～30日、 部会開催  
6月5日
- ・平成 24 年度の事業報告・決算報告
  - ・平成 25 年度の事業内容の検討（一斉清掃の実施方法やシンポジウムの内容等）
- 7月8日 全体会開催
- ・平成 24 年度の事業報告・決算報告
  - ・各部会の状況報告及び平成 25 年度の事業内容の検討（一斉清掃の実施方法やシンポジウムの内容等）
- 7月20日 親子河口観察教室の実施
- ・参加者：子ども 12 人、大人 13 人の計 25 人
- 7月27日 親子ガサガサ体験教室の実施
- ・参加者：子ども 16 人、大人 15 人の計 31 人
- 9月20日 仁淀川一斉清掃打合せ会  
10月19日 仁淀川一斉清掃の実施
- ・場所：流域市町村 6 会場
  - ・参加者：参加者：448 名
  - ・回収したゴミ：約 1.5 t
- 11月26日、 部会開催  
12月2日～5日
- ・一斉清掃の報告
  - ・シンポジウムの進捗状況を報告
  - ・第 2 次仁淀川清流保全計画の見直しについて説明

平成 26 年

- 1月16日 全体会開催
- ・副会長の選出
  - ・一斉清掃の報告
  - ・シンポジウムの進捗状況を報告
  - ・第 2 次仁淀川清流保全計画の見直しについて説明
  - ・平成 26 年度のスケジュールについて説明
- 2月1日 仁淀川シンポジウムの開催
- ・場所：高知市春野文化ホールピアステージ
  - ・参加者：約 150 人
  - ・テーマ：「えいでねえ♪仁淀川」

## 仁淀川一斉清掃について

平成25年10月19日 仁淀川一斉清掃の実績(参加者、ゴミ量)

	平成25年度実績				平成24年度実績			平成23年度実績		
	参加者数	目標人数	ごみ回収(kg)	内訳	参加者数	ごみ回収(kg)	内訳	参加者数	ごみ回収(kg)	内訳
仁淀川町	36	70	145		47	250		66	145	
可燃ゴミ				35			100			43
不燃ゴミ				110			150			102
越知町	52	80	70		37	135		32	110	
吾北	28	50	146		25	168		33	114	
可燃ゴミ				16			68			44
不燃ゴミ				80			40			50
粗大ゴミ				-			20			
資源ゴミ				50			40			20
いの町	117	300	470		186	375		116	354	
可燃ゴミ				220			220			180
不燃ゴミ				210			95			130
ビン類ゴミ				10			10			8
金属ゴミ				30			50			36
土佐市	185	400	360		197	590		258	780	
可燃ゴミ				-			410			120
不燃ゴミ				360			180			660
日高村	30	100	300							
合計	448	1000	1491		492	1518		505	1503	
			可燃ゴミ	271		可燃ゴミ	933		可燃ゴミ	497
			不燃ゴミ	760		不燃ゴミ	465		不燃ゴミ	942
			ビン類ゴミ	10		ビン類ゴミ	10		ビン類ゴミ	8
			金属ゴミ	30		金属ゴミ	50		金属ゴミ	36
			資源ゴミ	50		資源ゴミ	40		資源ゴミ	20

### 清掃箇所

- ・仁淀川町会場 : 池川地区 北浦ふれあい公園
- ・越知町会場 : 越知中学校下沈下橋周辺
- ・いの町会場 : 伊野地区波川親水公園
- ・吾北会場 : 吾北地区 広瀬キャンプ場
- ・日高村会場 : 能津地区 屋形船仁淀川発着場
- ・土佐市会場 : 新居 仁淀川河口大橋

### 広報等について

- ・各市町村広報掲載
- ・ラジオ告知
- ・J Aコスモス、サンプラザ、サニーマート  
ポスター、チラシ掲示・配布依頼
- ・電光掲示板利用(大渡ダム所管)
- ・流域の学校へ生徒数分チラシ配布

# 仁淀川一斉清掃

平成25年

## 10月19日(土)

小雨決行

\*仁淀川・環境の日=10月24日  
その前後の土曜日に実施(順延なし)

### みんなあて、 きれいにしようや!



#### ●開始時間 (詳細は裏面)

- 午前9時から10時開始、仁淀川町(10時)、越前町(10時)在り、  
いの町(10時)、白川町(10時)、日高町(10時)
- 午前7時から10時開始、土佐市(7時)在り

#### ●お問い合わせは

仁淀川流域保全推進協議会事務局 高知県環境共生課

TEL:088)821-4863

仁淀川流域保全推進協議会 高知市一志町1-1-1 日高町 松川町 越前町 仁淀川町(7市町) 高知県  
土佐市(1市) 高知市(1区) 高知市(1区) 高知市(1区) 高知市(1区) 高知市(1区) 高知市(1区) 高知市(1区)

高知市環境共生課

高知市環境共生課 TEL:088)821-4863 FAX:088)821-4864

みなさんの参加を  
お待ちしております。  
事前申し込みは不要です。  
動きやすい、汚れても良い格好で  
ご参加ください。  
軍手・火バサミなどは  
各自ご用意ください。



# 集合場所・開始時間



## 仁淀川町エリア

## いの町吾北エリア

**池川地区  
北浦ふれあい公園**

仁淀川町

●仁淀川町役場

●中津深谷 砂の森

●ドライブイン 引地橋

午前8時から  
1時間程度

**吾北地区  
広瀬キャンプ場**

吾北小

●吾北 むささび 温泉

いの町

633 美の里 ●

午前8時から  
1時間程度

【連絡先】 仁淀川町役場 町民課 Tel.(0889)35-1088

【連絡先】 吾北総合支所 産業課 Tel.(088)867-2313

## 越知町・佐川町エリア



## いの町伊野エリア

**越知町越知中学校下  
沈下橋周辺**

●横倉山 自然の森 博物館

●越知中学校

●越知小学校

●越知町役場

●総合運動場

午前8時から  
1時間程度

**いの町伊野地区 波川親水公園**

●伊野小学校

いの町 紙の博物館

いの町役場 ●

伊野

●伊野中学校

かんぼの宿 伊野 ●

波川

●川内小学校

午前8時から  
1時間程度

【連絡先】 越知町役場 環境水道課 Tel.(0889)26-1114

【連絡先】 いの町役場 環境課 Tel.(088)893-1160

## 土佐市・高知市エリア



## 日高村エリア

**土佐市新居  
仁淀川河口大橋  
河川敷**

土佐市

●光の村養護学校

●土佐自然学園

高知市

●仁淀川河口大橋

午前7時から  
1時間程度

**能津地区  
屋形船仁淀川発着場**

●土佐和紙工芸村

いの町

仁淀川橋

いの町役場 ●

伊野

波川

錦山 カントリー クラブ

日高村

●日高村役場

●小村神社前

日下

グリーンフィール ゴルフ倶楽部

午前8時から  
1時間程度

【連絡先】 土佐市役所 都市環境課 Tel.(088)852-7647

【連絡先】 日高村役場 産業環境課 Tel.(0889)24-4647



※各会場で開始時間が異なりますので、ご注意ください。



# 「えいでねえ♪仁淀川」第3回仁淀川シンポジウムレポート



## 「えいでねえ♪仁淀川」第3回仁淀川シンポジウム次第

●日時・会場

◆日時：平成26年2月1日（土）午後1時から午後4時 ◆会場：高知市春野文化ホールピアステージ

●主催団体等

◆主催：仁淀川清流保全推進協議会、高知県 ◆共催：仁淀川流域交流会議、高知市

●テーマ 「えいでねえ♪仁淀川」

水質日本一の仁淀川。きれいだけれど昔に比べて遊ぶ子どもが減ってきていることから、今回は「川で遊ぶ子ども＝川ガキ」というテーマを設定し、子どもたちが川に親しめる機会を増やしました。実際に川で遊んで、学んだ川ガキたちの見つけた「えいでねえ」にふれる内容となっています。

●プログラム

① 開会あいさつ

② 活動報告

「高知県の美しい清流を守る

高知食糧株式会社の活動について」

高知食糧株式会社 取締役営業本部長 山崎 大輔

③ ポスターセッション

●「日下川で遊んだよ!」

日高村佐川町学校組合立加茂小学校3年生

●「川ガキのススメ…みんな川ガキにならんかえ…」

田部 未空・祥一郎

●「仁淀ブルーのひみつ」

土佐市立高岡中学校・科学実験部

④ 演題：「川が流れる地域の幸福

～素敵な川、残念な水辺～

講演 ネイチャージャーナリスト かくまつとむ（鹿熊 勤）

⑤ 閉会あいさつ



## はじめに

仁淀川清流保全推進協議会が主催する「第3回仁淀川シンポジウム」が平成26年2月1日(土)に開催されました。協議会では、仁淀川流域の水質・環境・人とのつながりを流域全体で考えるために毎年シンポジウムを開催しています。今回は川遊びをする子どもの減少を食い止め、川へ呼び戻すために「川ガキ」というテーマを設定しました。

シンポジウムに先立ち、平成25年7月に仁淀川河口といの町波川で「生きもの探しと観察会」を高知県立高知青少年の家が主催、当協議会の共催で実施しました。ポスターセッションではこのイベントに参加した子どもを始め、学校と地域で取り組んだ川遊びを楽しんだ子ども、仁淀川の水質や生きものを調べている中学生たちに発表してもらいました。

講演にはネイチャージャーナリストの「かくまつとむ」さんを講師に迎え、「川が流れる地域の幸福 ～素敵な川、残念な水辺～」と題して全国の川や水辺を見てきたかくまさんならではの話をさせていただきました。

参加いただいた方からは、「子どもたちの発表は元気があって良い」「仁淀川と全国の川との比較や、GNH(国民総幸福度)、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)といった広い視野での話で分かりやすかった」など評価していただきました。

シンポジウムに参加いただけなかった方にも内容をお伝えするべく、概要をまとめた報告書を作成しました。皆様の今後の活動の一助となりましたら幸いです。

平成26年3月吉日

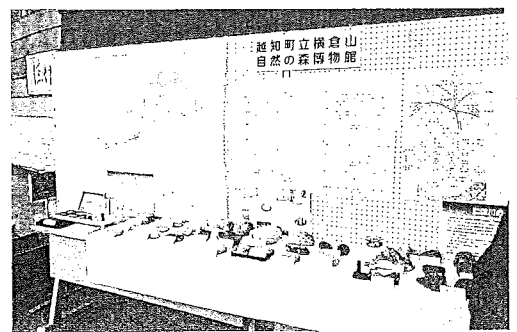
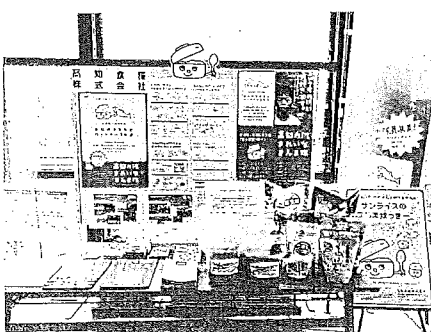
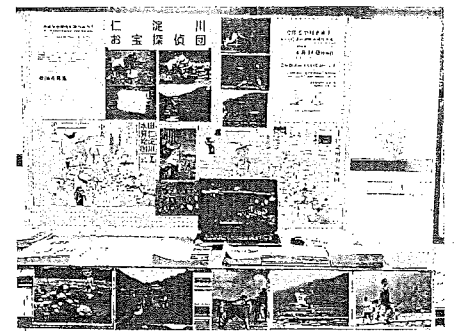
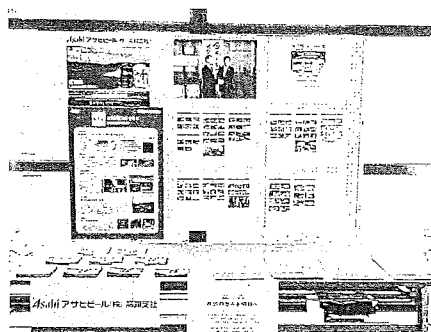
仁淀川清流保全推進協議会  
会長 石川 妙子

### 仁淀川清流保全推進協議会が目指すもの

平成22年3月に高知県が策定した「第2次仁淀川清流保全計画」を流域住民や団体、事業者、行政等が連携し、共通認識のもとで推進していくため同年6月に設立されました。

協議会ではこれまで仁淀川シンポジウムや河川一斉清掃に取り組んできましたが、仁淀川を本当の清流にしていくためにはまだまだ課題はあります。流域の皆さんとともに考え、動いていきたいと考えています。

## ロビー展





# 活動報告

## ○「高知県の美しい清流を守る高知食糧株式会社の活動について」

高知食糧株式会社 取締役営業本部長 山崎 大輔

高知食糧株式会社 山崎取締役営業本部長より、高知食糧株式会社が販売する無洗米「まんま炊つきー」の紹介と、同社が取り組んでいる清流保全活動への取り組みについて報告がありました。

無洗米はとがずに炊くことができ、とぎ汁で川や海を汚さず、かつ節水効果もある、環境に優しい商品であるという紹介ののち、無洗米の売り上げの一部、1キログラムあたり1円を県内の清流保全活動へ寄付しており、助成団体が活動する際にはともに参加するなど、積極的に清流保全活動に取り組んでいることを報告し、最後は今後も高知の美しい川を守っていきたくいと締めくくりました。

高知の美しい川を未来へ



高知県 × 高知食糧

高知県清流保全  
パートナーズ協定

## ポスターセッション

### ○「日下川で遊んだよ!」

日高村佐川町学校組合立 加茂小学校3年生

加茂小学校3年生は、平成25年6月22日に親子行事で取り組んだ日下川での水生生物調査、川遊びの感想を学年全員で発表しました。

「魚を捕まえたり、生き物を見つけることが楽しかった」、「釣りやボートで遊んだことが楽しかった」など当日の楽しかったことや印象に残っている出来事、地域の方の協力で楽しく実施できたことなどを映像とともに元気よく発表してくれました。



### ○「川ガキのススメ…みんな川ガキにならんかえ…」

田部 未空・祥一郎

平成25年7月20日、27日に高知県立高知青少年の家の主催（共催：仁淀川清流保全推進協議会）で実施した「親子河口観察教室」「親子ガサガサ体験教室」ともに参加した、田部未空さん、祥一郎さん姉弟が川ガキの未来について発表しました。

姉弟は実際の川遊びの体験談を交え、川で遊ぶ、学ぶことの楽しさや、「川ガキが増えると将来、環境や自然について考え、守っていける心豊かな大人になり、平和な世界がやってくる」と発表しました。

そして「大人も子ども達と一緒になってもっと川で遊び、体験してほしい」と、川ガキの魅力をススメ、伝えました。

### ○「仁淀ブルーのひみつ」

土佐市立高岡中学校 科学実験部

土佐市立高岡中学校科学実験部は、仁淀川は水質日本一に認定されたが、下流域でも本当にきれいなのか、また、波介川河口導流路が完成したことによる河川への影響を調べるため、平成24年度から土佐市用石地区の仁淀川と波介川で①水質、②水生生物、③植生について調査しています。

仁淀川について各調査の結果は、

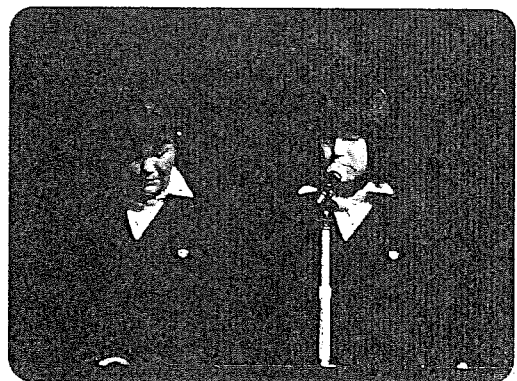
①水質はCOD、NO<sub>2</sub>、NH<sub>4</sub>の測定の結果、季節によって多少の汚染は見られるものの、比較的きれいである。

②アユカケ、ミミズハゼといった清流の証である生物が見られた。

③種数は1年通して変化がなかった。

となりました。

今後も仁淀川の秘密を探り、きれいに保てるように研究を続けたいと発表しました。



# 講演：「川が流れる地域の幸福～素敵な川、残念な水辺」～

ネイチャージャーナリスト かくま つとむ(鹿熊 勤)

30年ほど、取材活動、原稿を書いて生活をしています。20代ごろ釣り雑誌の記者をしていました。30歳前ごろにフリーになり、アウトドア雑誌や農業雑誌で地方と呼ばれるところを中心に取材活動をして、原稿を書いています。

戦前の雑誌「新青年」の編集長をつとめた森下雨村(佐川町出身)の「猿猴川に死す」という本にたいへん刺激を受け、仁淀川に憧れました。90年代に初めて仁淀川に足を踏み入れ、ある時偶然、川漁師の宮崎弥太郎さんと出会い、小学館のアウトドア雑誌「BE-PAL」で聞き書きを連載しました。この連載は2年間続き、「仁淀川漁師秘伝」という本になりました。

そうした経験から、仁淀川はどういう位置付けができるのか、川で遊ぶことがどんな意義があるのかということを中心に話をさせていただきます。



私は、北は北海道稚内、南は沖縄県西表島まで色々な川で遊んできました。良い川には地域を越えた共通項があります。

## 良い川が流れる地域の傾向

- ・川に落ちたり魚を捕って遊んでいる子が(まだ)いる
- ・大都会の釣り具店にはない素朴な道具が売られている
- ・この魚を食べても大丈夫か…と不安にならない水質
- ・アユ、ウナギだけでなく、雑魚も食べる文化がある
- ・生き物の種類と数が多い など

しかし、現代の川が抱えている課題はたくさんあります。大きく分けると、降雨量の極端な変動や生物の移動を妨げる【水文学的要因】、生物に有害な物質の流入や外来種の問題といった【生態的要因】、伝統的な漁業や食べる文化、民俗文化が消失している【社会・文化的要因】の3つ。歴史が忘れられているなかで、「川ガキ」というのも同時に減ってしまっていると言われていました。

川の健全度をチェックする要素が、自然のボリューム、その自然を生かすために地域が何か協力しているかという地域の連携力、歴史的・民俗的なものが受け継がれているかという3点で、これらの要素の中心にあるのが魚と関わる暮らしです。魚に関心がないということは、川、地域を大事にしているかということではないかと思えます。

人々が川に愛着をなくすと見切りをつけて諦め出し、水を汚し、川が悪くなるのを容認するという負のスパイラルに陥ってしまいます。これを変えるキーワードが「川ガキ」ではないかと思っています。

ですが、現在「川ガキ」は絶滅危惧種となっています。

## 川ガキが絶滅寸前となっている理由と背景

- ・可処分時間の減少(塾、習い事、宿題など)
- ・誘惑の増大(ゲームとネットとスマートフォンなど)
- ・伝承機会の喪失(両親・祖父母世代が川遊びを知らない)
- ・大人の責任回避(事故を恐れて子どもを川へ近付けない)
- ・自然の量的・質的劣化(わくわくするほど生き物がいない)
- ・出生数の減少(子どもの数が少ない)

「川ガキ」を残すことで負のスパイラルから好循環へ移っていく可能性がありますし、子どもの成長にも自然体験が不可欠です。

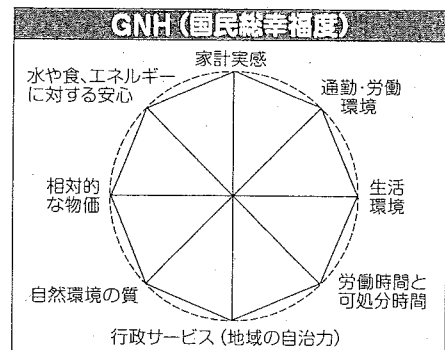
## 子どもに自然体験が必要な理由

- ・川遊びは「動物としての人間」の危機回避能力を養う
- ・科学的探究心を育むよき一歩になる
- ・生き物遊びはバーチャルでなくつねにリアル
- ・川で遊ぶと、環境の大切さが理屈抜きでわかる
- ・川遊び体験は、その質が高いほど郷土愛を強くする
- ・生命摂理の原則がわかると、心の知能指数(EQ)が上がる
- ・人間の運動能力は自然の野生生物にはかなわないので、知恵を働かせることの意味を悟らされる

良い川が流れる地域の傾向について先述しました。GNH(国民総幸福度)という言葉が近年言われています。

幸せの計り方はトータルです。こういう指標で仁淀川流域の暮らしを当てはめると、そう悪くないのではないのでしょうか。

GNHに対比する言葉で、「クオリティ・オブ・ライフ」という言葉があります。これはどれだけ人間らしいか、自分らしいかということで、こういう視点で見たら高知で普段から食べているものはよそから見たら羨ましい。全国を歩いた私なりの比較で、高知県全般の優位性は



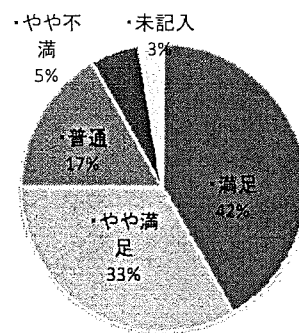
## 高知県全般の優位性

- ・すばらしい川が今もたくさんある!
- ・固有の文化が際立って多い
- ・自然、第一次産業型の未利用資源がそこら中にある
- ・環境意識が高い(ほうだと思おう)
- ・すでにGNHを未来の指標にしつつある
- ・楽天的(な人が多い)
- ・高知県民は、郷土愛が強い
- ・議論好きである(でも、酒を飲みながらなので内容をよく忘れる)

ということが他県に比べて良いポイントだと思います。最後に、「川ガキ」は地域の幸福度を測る永遠の指標であると思います。「川ガキ」をカワウソの二の舞にしないよう、「川ガキ」が残っている県として知恵を結集してほしいと思います。

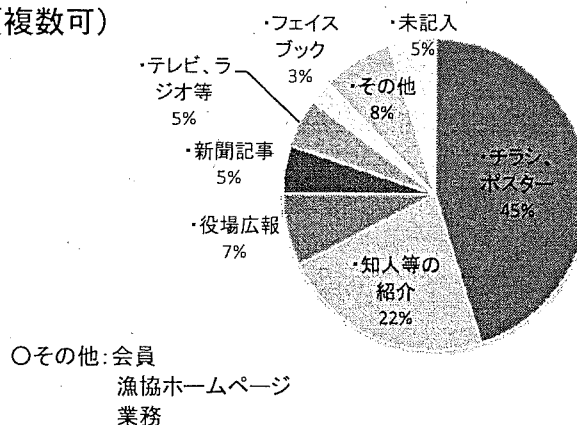
1) 本日のシンポジウムに対する満足度

・満足	15
・やや満足	12
・普通	6
・やや不満	2
・不満	0
・未記入	1



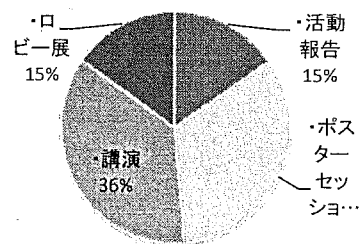
2) 今回のシンポジウムを何で知ったか(複数可)

・チラシ、ポスター	18
・知人等の紹介	9
・役場広報	3
・新聞記事	2
・テレビ、ラジオ等	2
・フェイスブック	1
・その他	3
・未記入	2



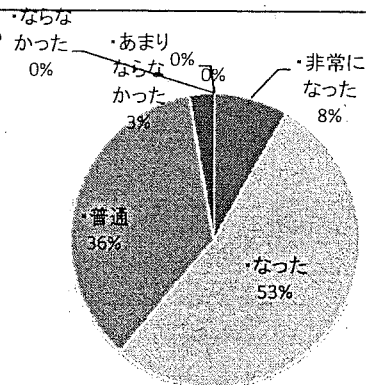
3) 良かったもの(複数可)

・活動報告	11
・ポスターセッション	24
・講演	26
・ロビー展	11
・その他	0



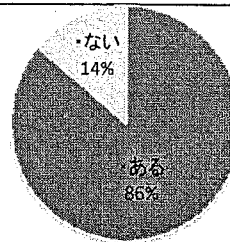
5) 活動への参加や、子どもたちを川へ送り出すきっかけとなったか

・非常になった	3
・なった	19
・普通	13
・あまりならなかった	1
・ならなかった	0



6) 川遊びをしたことは

・ある	31
・ない	5



#### 4) 設問3)の良かった点

- ・GNH、川ガキの問題 ・子どもからの提案が良かった ・川ガキを増やすには大人が遊ぶ ・田部家の川ガキ姉弟の発表 ・かくまさんの講演
- ・子どもたち ・子どもたちの活動報告 ・ロビーでのPR ・川ガキもだけ大人も川遊びしよう ・田部姉弟の積極性
- ・かくまさんの話はとても興味深かったです。もともとと具体的に仁淀川についてお聞きしたかった。
- ・子どもたちの発表が良かった。特に兄弟の話は楽しそうだった
- ・小さい時から川遊びの楽しさを体感することが大事。子どもも大人も自然に親しみ、関心を持ち、後世へ伝えていくために多くの課題があると感じた。
- ・他の川での比較や、子どもたちの活動が見えた。
- ・子どもたちのメッセージ、大人が楽しんで川に関わるよさをひしひしと感じた
- ・特に小中学生のポスターセッションは思いが込もって良かったです。鹿熊さんの講演で全国の河川の様子など少しのぞかせて載けて良かったです。
- ・特に講演内容が良かった。全国を例に出して非常に分かりやすい。
- ・子どもたちは元気があって良い。
- ・それぞれが楽しい発表だったように思う。あまり先生や関係者が手を加えないようにしていただきたい。
- ・3組の小中学生の発表は分かりやすく工夫されていた。石川先生が小中学生の感想を聞くという工夫もよかった。
- ・とてもわかりやすく、GNHやQOLの話など、川の話だけでなく大きな視野での話が聞けて良かった。
- ・子どもたちの声はインパクトがあった。
- ・生徒の心持ちが伝わるいい話でした。
- ・3組それぞれに素晴らしい活動をしていることに感じました。姉弟の発表は全国発表して欲しい。
- ・環境問題を柱とした内容、仁淀川へ目を向けさせることの大切さ

#### 7) 仁淀川のえいねえ♪は。(自由記述)

- ・川で遊ぶ 30年前より ・水辺、仁淀ブルー ・きれいな水 ・青く透明な水面の美しさ ・川に人がたくさんいる 川遊び、漁など
- ・魚をとるあそびをする大人がまだいる。 ・やはり水がきれい ・美しい川、きれいな水、おいしい魚 ・えいねえと思わせるところ
- ・きれいで、一つにまとまろうとはしている、水生昆虫 ・水流、風景 ・♪アユ♪ ・自然豊かであること ・美しい景色
- ・地元の川(奈良、大阪の大和川)の話が出てきてドキッとしました。川の生物の多様性、におい、川ガキ、シンポジウムすべて。えいねえ♪
- ・昔から身近にある仁淀川がこれからも変わらなずあり続けることを願います。
- ・川と共に暮らしているところ ・水がきれいな事が一番。次に住んでいる人の人情も素直。
- ・水が美しいところ ・よいねえ ・釣り人と川遊びの子どもが近い距離間で楽しめる。 ・面白い人がたくさんいる
- ・仁淀川の清流と川原石のきれいさ ・きれいな水と種類の多い石たち

## 8) 今後取り上げてほしいテーマ (自由記述)

- ・流域の人の意識は低いです。汚いものを平気で捨てています。残念です。それを改善できるきっかけになるような内容をお願いします。
- ・生野さんの地道な活動、山岡さんの調査も他の方に知ってもらいたい。逆に私の知らない活動を知らない。
- ・川を管理している国交省のお役人を交えて今後の利用についてや、方向性を探る等をテーマにしてみてもいい。
- ・小中学生の発表を次回以降も取り入れるべき。
- ・水質浄化方法
- ・山との関わり
- ・農業と川をテーマにできないか。
- ・仁淀川の水生生物と地質をからめたシンポを期待します。
- ・仁淀川清流保全の諸団体の取り組み 仁淀川の景観保全の取り組み

## 9) 感想など (自由記述)

- ・参加者が少なくても残念。もっと来て欲しい。PRを。
- ・川の学校など積極的に参加したいが、いつ活動しているか余り情報が入ってこない。自ら知ることも大事だが、発信力も必要かと思った。
- ・お世話になりました。
- ・川で遊ぶイベントを(上・中・下)流で年1回以上して欲しい。
- ・会場が広すぎ。事務局のシンポジウムに対する周知が全く足りない。内容が良かっただけに本当にもっといいのでは？
- ・カメラのシャッター音が耳障り(聞く気がそがれる)そんな撮る必要があるのか疑問。もっと広報してもいいのでは？
- ・シンポジウムの会場は仁淀川の河川敷ですべきではないか。
- ・流域諸団体の仁淀川関係の取り組み 五色石がある仁淀川の誕生について (仁淀川の石の設置)
- ・集客に力を入れ、もっと流域の多くの方に聴講してほしい。

# 平成25年度仁淀川清流保全推進協議会 収支決算

(歳入)

区分	項目	決算	備考
交付金等	仁淀川流域交流会議パートナーシップ事業交付金	650,000	・仁淀川流域交流会議
	高知県パートナーズ協定事業寄付金	337,000	・高知食糧株式会社
	寄付金	100,000	・株式会社サンブラザ
その他収入	夏の川ガキイベント参加費(保険料)	2,800	・イベント保険料として
	預金利子等	71	・預金利子等
繰越金	平成24年度繰越金	94,854	・前年度からの繰り越し
合計		1,184,725	

(歳出)

## ①夏の川ガキイベントへの共催

区分	内容	決算	備考
報償費	講師謝金	18,000	・9,000円×2講座
旅費	講師旅費	1,102	
需用費	消耗品等	4,800	
役務費	振込み手数料	1,575	
	傷害保険	4,200	
合計		29,677	

## ②仁淀川一斉清掃

区分	内容	決算	備考
需用費	ポスター、チラシ印刷	197,000	・チラシ 10,000部 ・ポスター 1,000部
	軍手	37,800	・軍手 1,000組
	水切り袋	54,000	・水切り袋 600袋
役務費	振込み手数料	1,575	
	傷害保険	15,680	
合計		306,055	

## ③仁淀川シンポジウム

区分	内容	決算	備考
報償費	講師謝金(関連事業の取材及び講演)	80,000	・かくまつとむ氏
	司会謝金	20,000	・岩崎ひすい氏
	ポスターセッション謝金	10,000	・図書券5000円分×2組
旅費	講師等旅費(宿泊費込み)	121,106	・川ガキイベント取材 ・仁淀川シンポジウム講演
役務費	ポスター、チラシデザイン料	70,000	・村岡マサヒロ氏
	ポスターセッション参加者送迎運転業務	6,420	・佐川・越知・日高広域シルバー人材センター
	テーブル起こし	25,800	・土佐市子育てネットワーク たまごくらぶ
	振込み手数料	11,130	
需用費	看板製作	66,150	・横断幕 ・立て看板用ポスター
	ポスター、チラシ印刷	163,800	・高知新聞総合印刷
	食糧費	3,564	・講師、司会、弁当、水差し用飲料
	報告書作成	96,600	・高知印刷総合印刷
	消耗品費	5,040	・シンポジウム展示物作成
	バス燃料費	1,152	・ポスターセッション参加者送迎
合計		680,762	
事業費合計 ①+②+③		1,016,494	
次年度への繰り越し		168,231	
歳出合計		1,184,725	

## 平成 25 年度監査報告書

仁淀川清流保全推進協議会設置要綱第 5 条第 4 項の定めるところにより、平成 25 年度予算執行に係る関係諸帳票について監査しましたところ、適正に処理され、決算金額は正確であったことを報告します。

仁淀川清流保全推進協議会

平成 26 年 5 月 19 日

監 事 四国森林管理局計画保全部長

吉永俊郎

平成 26 年 5 月 19 日

監 事 いの町観光協会事務局長

中澤 一也



平成 26 年度 仁淀川清流保全推進協議会 年間スケジュール (案)

平成 26 年

- 5 月 共催事業の開催  
・ 5/24 親子ガサガサ体験教室  
・ 5/31 親子カニカニ観察教室
- 6 月 仁淀川清流保全推進協議会 部会 (5ヶ所) 開催
- 7 月 仁淀川清流保全推進協議会 全体会開催
- 8 月 仁淀川一斉清掃に関する P R の実施  
・ 各市町村 10 月号広報への掲載依頼  
・ ポスター、チラシの印刷発注  
・ 新聞への掲載依頼  
シンポジウムに関する P R 準備  
・ ポスター、チラシの印刷発注
- 9 月 仁淀川一斉清掃の準備検討会開催  
・ メンバー：各市町村、部会長及び国土交通省 (仁淀川出張所)  
・ ポスター、チラシの配布  
シンポジウムに関する P R の実施  
・ 各市町村 11 月号広報への掲載依頼  
・ ポスター、チラシの配布・掲示  
・ シナリオ作成 進行打合せ  
・ 関係者との打合せ (司会、講師、パネリスト)
- 10 月 25 日 (土) 仁淀川一斉清掃の実施  
(\*仁淀川・環境の日=10 月 24 日 前後の土曜日に実施)
- 11 月 30 日 (日) 午後 1 時～ 場所：越知町  
第 4 回仁淀川シンポジウムの開催 (※)
- 12 月 仁淀川清流保全推進協議会 部会 (5ヶ所) 開催  
・ 一斉清掃の実施についての評価  
・ 来年度の取組みについて検討

平成 27 年

- 1 月 仁淀川清流保全推進協議会 全体会開催  
・ 一斉清掃の実施についての評価  
・ 来年度の取組みについて検討

※シンポジウムの開催時期については 11 月の予定で調整中。調整がつかなかった場合は 2 月末で調整。詳しくは「第 4 回仁淀川シンポジウムについて (案)」(P. 15)。

# 親子ガサガサ体験教室

仁淀川に住む生き物をみつけてみよう！

日 時：平成26年5月24日（土）10:00～12:00  
 （当日の受付は9:30より）  
 場 所：いの町波川緑地公園（集谷も同じ）※裏面に地図があります。  
 体験内容：①川虫ビンゴ ～ガサガサで生き物探し～  
 ②見つけた生き物をみんなで見学する！  
 ③見つけた生き物から分かること～石川先生のお話～

対 象：小学生20名と保護者  
 参加料：小学生ひとりにつき100円（保険料）  
 持ってくる物：脱げにくいサンダルが濡れてもいい靴、飲み物、帽子、タオル、筆記用具、あれば生き物を



入れるケース（タッパーなどで可）  
 講師：石川 妙子先生（水生生物研究家）  
 受付期間：平成26年4月24日～5月20日  
 備 考：☆濡れても構わない格好でお越しください。  
 ☆採集道具は用意します。（自前の道具をみたい方は持参しても構いませんが、各自管理をお願いします。）  
 ☆雨天増水時は、青少年の家で講師の先生からのお話や、ゲームなどを予定しています。前日（5/23）の正午に判断し、受付時の緊急連絡先に連絡します。



## お問い合わせ先・参加申し込み受付

高知県立高知青少年の家（9時～17時）  
 〒088-891-5331 土日祝も申込受付しています。  
 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。  
 ※子どもどものみの参加はできません。  
 ※電話もしくは来館にて受付。

主催：高知県立高知青少年の家  
 共催：仁淀川清流保全推進協議会

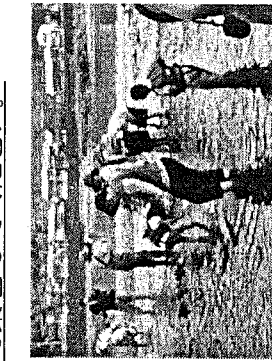
# 親子カニカニ観察教室

☆潮が引いた河口で生き物ウォッチング☆

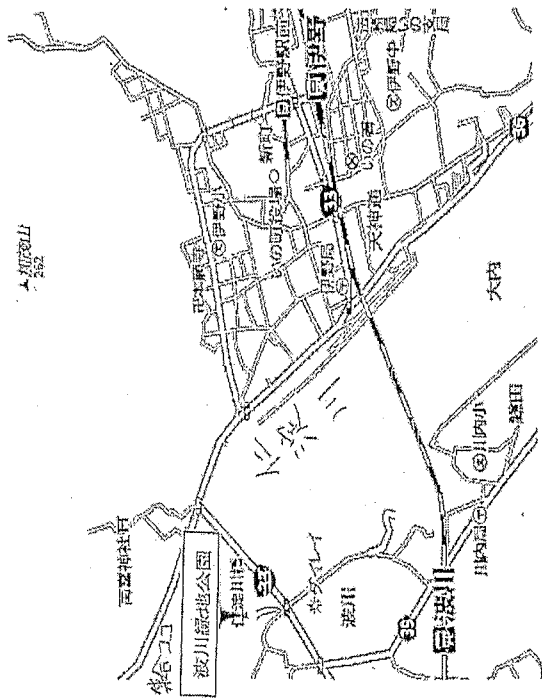
日 時：平成26年5月31日（土）13:00～15:00  
 （当日の受付は12:30より）  
 場 所：仁淀川河口 ※裏面に地図があります。  
 集 合 所：土佐市新居湊38-33 「南風の郷」  
 体験内容：①チコガニのダンスを観察する！  
 ②水辺の生き物探し！  
 ③見つけた生き物をみんなで見学する！

対 象：小学生20名と保護者  
 参加料：小学生ひとりにつき100円（保険料）  
 持ってくる物：濡れてもいい靴（ケガ防止の為サンダルは避けること）  
 飲み物、帽子、タオル、筆記用具

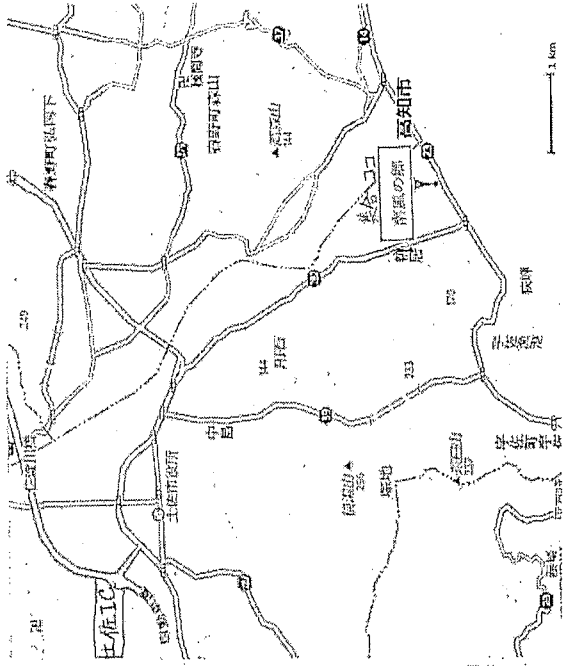
講師：高知大学教育学部 伊谷 行 先生  
 受付期間：平成26年4月24日～5月28日  
 備 考：☆濡れても構わない格好でお越しください。  
 ☆採集道具は用意します。（自前の道具をみたい方は持参しても構いませんが、各自管理をお願いします。）  
 ☆雨天増水時は、青少年の家で講師の先生からのお話や、ゲームなどを予定しています。前日（5/30）の正午に判断し、受付時の緊急連絡先に連絡します。  
 ☆集合受付と観察場所が離れていますので、時間に余裕をもつて集合してください。



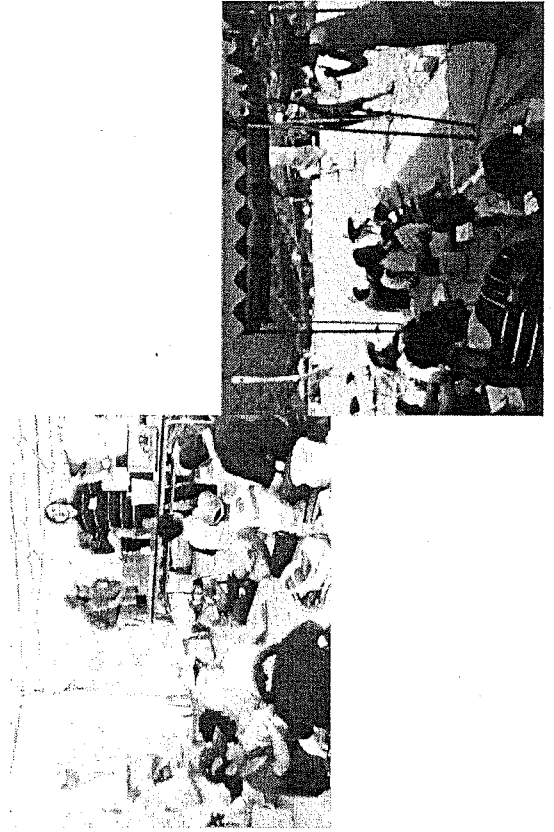
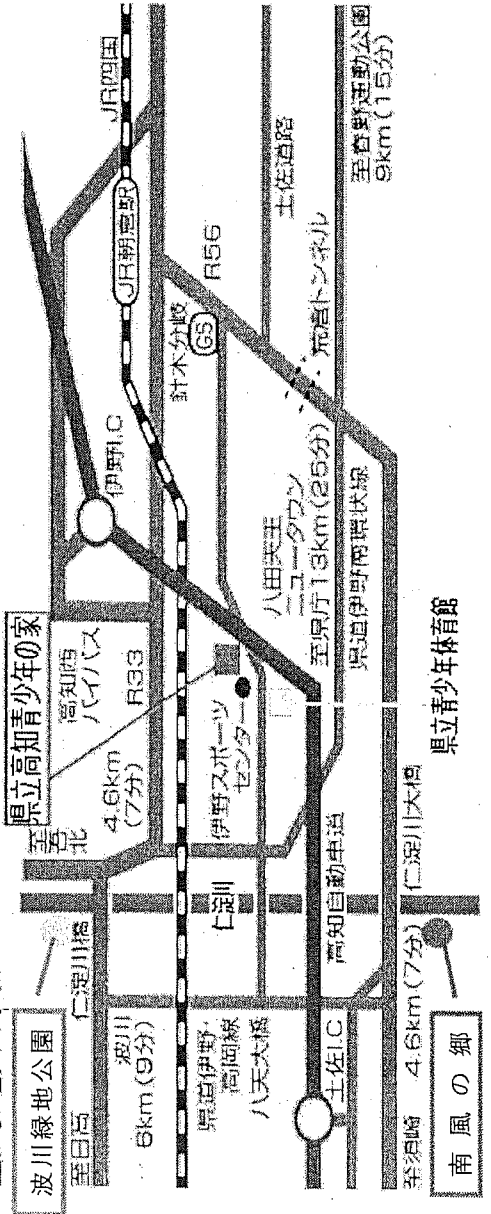
# 《親子ガサガサ体験教室》



# 《親子カニカニ観察教室》



## ■ アクセスマップ



## 第4回仁淀川一斉清掃の実施について（案）

### ■実施時期・場所/体制等の検討

#### ○ 実施体制

主催：仁淀川清流保全推進協議会・高知市・土佐市・いの町・日高村・佐川町・  
越知町・仁淀川町（流域7市町村）・高知県

共催：仁淀川流域交流会議・ラブリバー仁淀川パートナーシップ

#### ○ 実施日

10月25日（土）（小雨決行、順延なし）

（\*仁淀川・環境の日=10月24日 その前後の土曜日に実施）

#### ○ 清掃場所・開始時間・問合せ先

各部会にて場所・時間を検討

##### ①仁淀川町エリア

場 所 中津溪谷（旧名野川小学校に集合）

時 間 午前8時から1時間程度

連絡先 仁淀川町 町民課 （0889）35-1088

##### ②越知町・佐川町エリア

場 所 佐川町（検討中）

時 間 午前8時から1時間程度

連絡先 佐川町 町民課 （0889）22-1111

##### ③いの町吾北エリア

場 所 吾北地区 広瀬キャンプ場

時 間 午前8時から1時間程度

連絡先 いの町吾北総合支所 産業課 （088）867-2313

##### ④いの町伊野エリア

場 所 伊野地区 いの町波川親水公園

時 間 午前8時から1時間程度

連絡先 いの町 環境課 （088）893-1160

##### ⑤日高村エリア

場 所 能津地区 屋形船仁淀川発着場

時 間 午前8時から1時間程度

連絡先 日高村 産業環境課 （0889）24-4647

##### ⑥土佐市・高知市エリア

場 所 高知市河口仁淀川大橋 春野町分河川敷

時 間 午前7時から1時間程度

連絡先 高知市 環境政策課 （088）823-9209

（\*⑤土佐市・高知市エリアは国土交通省仁淀出張所のラブリバー仁淀川パートナーシップと合同開催）

## 部会で出された意見

### 反省点・改善点

- ・ 去年は雨が降っている中開催したため、やっているのかどうかわからず来なかった人もいたと思う。決行か中止かわかりやすいようにホームページ等に記載するようにしてはどうか。  
→ 県環境共生課のホームページに記載できるように調整する。
- ・ 一昨年は受付を通らなかった参加者が多かったので、受付のテントを河口への下り口の参加者が通る通路上に置くようにする。(河口域)
- ・ 来る人も決まっていて、漁協や農協から声を掛けていただいた人しか来ない。去年は学校にもチラシを配布したが、子どもたちもほとんど来なかった。  
→ PRの仕方を見直すほか、合わせて行えるイベントなどを検討し、来場者を増やしたい。

### 次年度以降に向けて

- ・ 中途半端に個別のエリアでやってもメディアも人も来ない。啓発という形で清掃を始めたのであれば、細かく部会を作ってそれぞれでやるのではなく県下1ヶ所に集まって知事にも来ていただいた方がもっと啓発に繋がるのでは。  
→ 一斉清掃なので、仁淀川流域で一斉に別々に清掃を行うということで始めたことなので、別々に行いたいという意見もある。
- ・ 場所によっては、会場準備に草刈りが必要になる。現在はかなりお願いして土木に頼むなどしているが、草刈りの委託費用等を協議会でみていただけると場所を決めやすいので検討いただきたい。

## 第4回仁淀川シンポジウムについて（案）

- 主催団体等  
主催：仁淀川清流保全推進協議会・高知県  
共催：仁淀川流域交流会議
- 目的  
仁淀川流域の清流保全等をみんなで考えていくため、仁淀川流域での取組みを公表し、仁淀川の上流から下流域間における地域の交流を進めていく。  
本年度は、原点に立ち返り、「交流」をテーマとし、仁淀川流域で活動する団体等の活動事例の発表を行うなど、流域で行われている活動を学べる場を作り、今後の活動につなげていく。
- 日時  
候補日：平成26年11月29日(土)、11月30日(日)  
(上記11月開催が難しい場合は平成27年2月で調整)  
時間：13:00から16:40まで
- 会場  
越知町 町民会館
- シンポジウム構成案  
【第1部「知る」】
  - ① 開会あいさつ 13:00~13:10  
仁淀川清流保全推進協議会 石川会長 5分  
越知町 小田町長（仁淀川流域交流会議会長） 5分
  - ② 事例発表 13:10~14:40  
アサヒビール株式会社（調整中） 15分  
活動団体 15分×5組【休憩】 30分 14:40~15:10  
【第2部「深める」】
  - ③ ワークショップ 1時間 15:10~16:10
  - ④ まとめ 25分 16:10~16:35
  - ⑤ 閉会あいさつ 5分 16:35~16:40

## 部会で出された意見

### 反省点・改善点

#### 【集客】

- ・せっかくの良い話なので、人に来てもらって話を聞いてもらえるようにPRなど、人集めの工夫をするべき。自己満足で終わってはもったいない。
- ・人数が集まらないのも時期というよりは内容ではないか。行って聞いてみたいと思うような内容で講演をするか、知り合いが発表するとなると行ってみようかとなるだろうし、発表者も自分が発表するからと人を誘いやすいのでは。
- ・ある程度のにぎやかさや目玉はあるだろう。講演者によって来場者のエリアが変わってくるのなら、どのエリアの人たちに来てもらったらいいのかも変わってくるのでは。

#### 【内容】

- ・仁淀川地域観光協議会などの取組も紹介してみてもどうか。「仁淀川を知り、仁淀川の水をきれいにしよう。」という気が起きるような主眼でシンポジウムの内容を検討するべきでは。
- ・仁淀川の水がどんなことに使われているかなど娯楽や産業など、水との関係を少しずつでも紹介をしてみても。水の恵み・森の恵みとか。
- ・昨年度のシンポジウムのアンケートで石の話をもっと聞きたいという回答があったので、安井先生に話をさせていただいては。
- ・同アンケートに子どもの発表をもっとあるので、子どもを参加させては。  
→ 越知中学校はどうか。

#### 【その他】

- ・仁淀川漁協のシンポジウムは利きアユ大会があるから人が集まっている。仁淀川シンポジウムでも何か仁淀川に関わる食を取り入れてみては。
- ・せっかく市町村を回って開催するのだから、市町村がやって良かったと思えるような方法でできたらいい。
- ・開催する市町村の特色を出したシンポジウムになるといい。



平成26年度仁淀川清流保全推進協議会 収支予算(案)

(歳入)

単位：円

			備考
区分	項目	金額	
交付金	仁淀川流域交流会議パートナーシップ事業交付金	700,000	
その他収入	寄附金等	50,000	
繰越金		168,231	
合計		918,231	H25決算額102万円

(歳出)

単位：円

①仁淀川一斉清掃			備考
区分	内容	金額	
需用費	ポスター、チラシ 印刷	200,000	
	軍手、水切り袋	90,000	
役務費	振込み手数料	1,600	
	傷害保険	25,000	
合計		316,600	H25決算額31万円

②仁淀川シンポジウム			備考
区分	内容	金額	
報償費	司会謝金	20,000	
	コーディネーター謝金	20,000	
	登壇者謝金(5組×10,000円)	50,000	
旅費	登壇者等旅費(5組×2,000円)	10,000	
役務費	テーブル起し	30,000	
	振込み手数料	12,000	
需用費	看板製作(横断・懸垂幕)	70,000	
	ポスター、チラシ 印刷	170,000	
	講師・パネラー弁当・お茶等食糧費	10,000	
	報告書作成	150,000	
使用料	会場料	20,000	
合計		562,000	H25決算額68万円

予備費		39,631	
歳出計①+②		878,600	H25決算額102万円